

令和5年度第5回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和5年10月22日（日）

実施場所：穂別町民センター

令和5年度のむかわ町子ども化石くらぶ第5回を開催しました。大阪市立自然史博物館の田中^{よしひろ}嘉寛学芸員をお招きし、「クジラの進化を研究してみよう」と題した実習と講演を行いました。

【5・6年生の部（午前）】

17名の会員児童が参加しました。前半では化石や生物の形態をことばで表す「記載」という作業をモチーフにした「記載伝言ゲーム」という実習を2人1組で行いました。実習のはじめに、様々な外見のクジラが描かれたカードを児童に配ります。2人組のうち1人は配られたカードを相手に見せずに、言葉だけで説明し、もう1人はその説明を参考にクジラの絵を描きます。相手に自分のカードとそっくりなクジラを描いてもらうことができるか＝クジラの形態をきちんと「記載」して相手に伝えられるかに挑戦しました。1度目の伝言ゲームが終了したあとは、記載でよく使われることばをまとめた単語カードと、より複雑な姿形のクジラが描かれたカードを配布し、2度目の伝言ゲームを行いました。



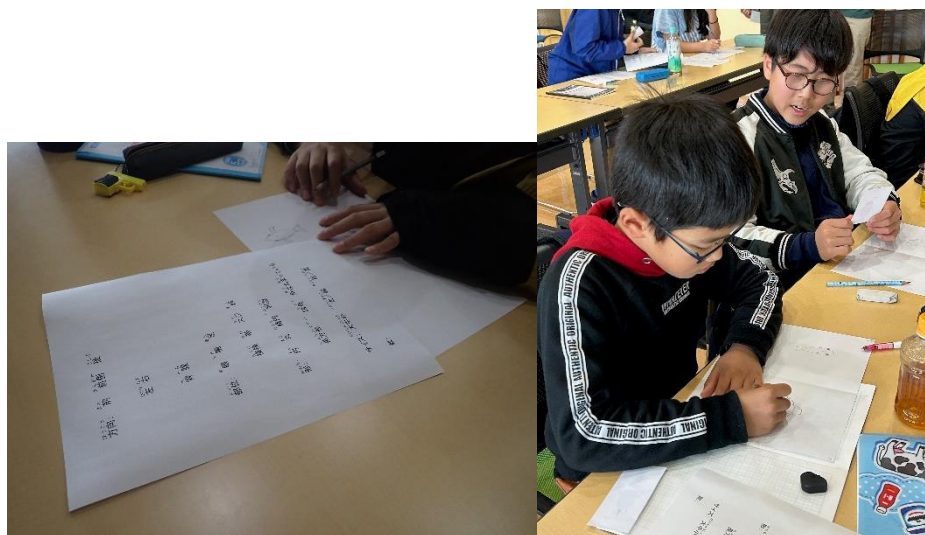
講師の田中嘉寛学芸員（大阪市立自然史博物館）



実習・会場の様子



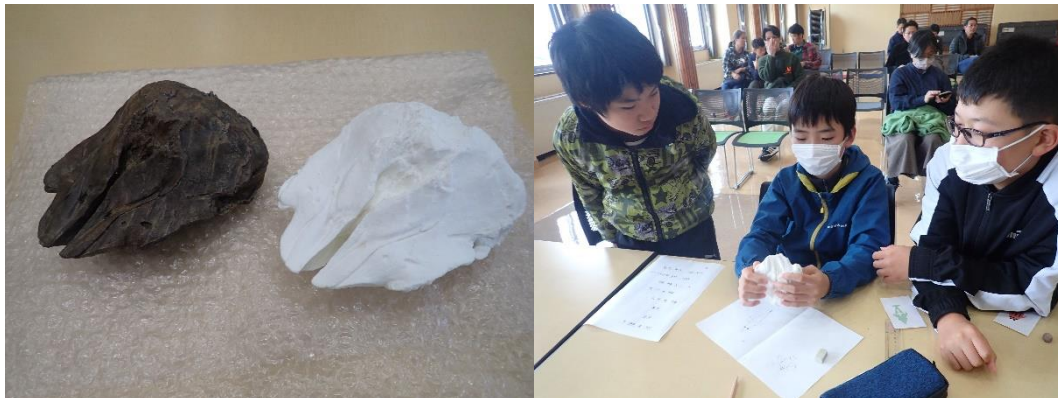
配られたイラストと、イラストの特徴を相手に伝える様子



単語カードに描かれた言葉を参考にして、「記載伝言ゲーム」に再挑戦しました。

「記載伝言ゲーム」に続いて、むかわ町産の絶滅イルカ化石「ケントリオドン・ホベツ」のレプリカを観察し、目と鼻のあった位置の推理を行いました。

実習の後の講演では、田中学芸員が化石博士になるまでの道のりとして、ニュージーランドへの留学や自身の研究活動について紹介しました。



ケントリオドン・ホベツの頭骨のレプリカと、レプリカを観察する様子

【3・4年生の部（午後）】

8名の会員児童が参加しました。午後の部につきましては、ハドロキッズチームの活動を周知する目的で一般公開を行いました。午後の部では前半で講演、後半で実習を行いました。



講演の様子



「記載伝言ゲーム」の様子





ケントリオドン・ホベツ（レプリカ）の観察と田中学芸員による解説

10月22日の活動では、中学生ボランティア3名、博物館ボランティア2名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘
むかわ町経済恐竜ワールド戦略室 主任 太田晶